

下水道機構の『新技術情報』 第119号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

今週から師走。湯たんぽのお世話になる季節がきました。湯たんぽは、ゆるやかに温度が下がっていくので、朝までぐっすり！寝起きもすっきりです。最近では女性向けにかわいいデザインの湯たんぽもあるようです。地球にやさしい暖房器具みなさまもお試しあれ♪

それでは、機構メールマガジン『新技術情報』第119号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・11/20(水)に管路技術共同研究委員会を開催しました
- ・11/25(月)に水処理技術共同研究委員会を開催しました

■機構の動き

- ・今週は、12/4(水)に第4審査証明委員会、12/5(木)に技術委員会、第5審査証明委員会を開催します

■Tea Break

- ・年賀状の季節（無名氏さんからの投稿です）

■まる子のゆいまーる♪

- ・本日はお休みします m()m

■国からの情報

- ・11/29 付下水道ホットインフォメーション

インフォメーション（最新の話です）

●11/20（水）に管路技術共同研究委員会を開催しました

当日は、『修繕工法による管きょ長寿命化に関する共同研究』、『下水道用マンホール改築・修繕工法に関する共同研究』の2件について審議されました。

『修繕工法による管きょ長寿命化に関する共同研究』は、修繕工法の長期性能や耐久性を明確にし、長寿命化対策の一つとして提案できる資料をまとめることを目的と

しています。

本研究は継続案件であり、当日は共同研究者である東亜グラウト工業株式会社 浦安営業所で開催し、新規開発中の修繕工法に関する試験状況について確認をしました。確認した内容を含め、試験方法やその評価方法等についてご意見を頂きました。今後は、今回の審議内容を踏まえて引き続き修繕工法の性能評価等を行ってまいります。

『下水道用マンホール改築・修繕工法に関する共同研究』は、株式会社安藤・間、エスジーシー下水道センター株式会社、エバシート工法研究会、MLR協会、クリスタルライニング工法協会、株式会社G&U技術研究センター、株式会社湘南合成樹脂製作所、積水化学工業株式会社、ターヤン工法協会、中日本建設コンサルタント株式会社、株式会社日水コン、日本ジッコウ株式会社、日之出水道機器株式会社との共同研究であり、初めての審議案件です。

本研究は、下水道用マンホール改築・修繕工法に関して、調査方法・判定基準、設計手法および工法の位置づけを明確化等することで、下水道用マンホールの長寿命化計画策定に貢献する技術マニュアルを作成することを目的としています。

当日は、研究の背景と目的、課題、検討事項など共同研究の概要説明を行いました。委員の方からは、更生工法や防食工法の施工方法などの質問がありました。今後は、今回の審議内容をふまえて資料を整理してまいります。

●11/25(月)に平成25年度第2回水処理技術共同研究委員会を開催しました

議題は

- (1)「酸化剤を用いた余剰汚泥削減技術（標準活性汚泥法）に関する共同研究」
- (2)「活性汚泥法等の省エネルギー化技術に関する共同研究」の2議題です。

(1)に関しては、平成23年度からの継続案件であり、追加された実証試験結果についての報告を行いました。また、マニュアル案を査読いただいた結果を報告し、ご意見をいただきました。委員会での審議は今回が最後であり、技術マニュアルを本年度末に発刊の予定です。

(2)に関しては、本年度新規の案件であり、省エネに関して得られた実証データ等を説明し、技術資料のまとめ方について議論しました。次回は技術資料案を事前に提示し、査読いただく予定です。

今回の議事内容は12月上旬の技術委員会で報告する予定です。

。○○。

機構の動き（機構の行事予定です）

。○○。

●平成25年12月4日(水) 13:30~17:30

行 事：平成25年度 第3回 第4審査証明委員会

場 所：下水道機構8階 特別会議室

内 容：平成25年度 建設技術審査証明（下水道技術）の各依頼技術の報告書の
審議および質疑応答

●平成 25 年 12 月 5 日(木) 13:30～16:30

行 事：平成 25 年度第 2 回 技術委員会

場 所：下水道機構 8 階 特別会議室

内 容：各委員会の調査研究報告についての審議

●平成 25 年 12 月 5 日(木) 13:30～17:30

行 事：平成 25 年度 第 3 回第 5 審査証明委員会

場 所：下水道機構 8 階 中会議室

内 容：平成 25 年度 建設技術審査証明（下水道技術）の各依頼技術の報告書の
審議および質疑応答

○平成 25 年 12 月 12 日(木) 13:30～17:30

行 事：平成 25 年度 第 3 回第 3 審査証明委員会

場 所：下水道機構 8 階 特別会議室

内 容：平成 25 年度 建設技術審査証明（下水道技術）の各依頼技術の報告書の
審議および質疑応答

○平成 25 年 12 月 12 日(木) 17:00～18:00

行 事：第 321 回 技術サロン

場 所：下水道機構 8 階 中会議室

ゲスト：EICA 東日本大震災調査研究委員会 EICA 米国ハリケーン・サンディ下水
処理施設被害復旧調査団団長 中里卓治氏

テーマ：米国ハリケーン・サンディ被害処理場の調査報告

※参加お申し込みはこちらから

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

○平成 25 年 12 月 19 日(木) 13:30～17:30

行 事：平成 25 年度 第 3 回 第 2 審査証明委員会

場 所：下水道機構 8 階 特別会議室

内 容：平成 25 年度 建設技術審査証明（下水道技術）の各依頼技術の報告書の
審議および質疑応答

_____。○○。

Tea Break （機構職員の感じるまま）

。○○。_____

●年賀状の季節（無名氏さんからの投稿です）

年賀状の売り出しがはじまった。とはいえまだ買ってない。でも気はせいってくる。
以前は印刷屋さんの見本の図柄に多少の近況などを加えて注文し作成していた。あて
名書きは手書きであったからそれだけで 2～3 週間くらいはかかった。あいうえお順

- 「エッピー祭」を開催します（愛知県下水道科学館）【愛知水と緑の公社】
- 12月の技術サロンの開催について【下水道機構】
- 第20回循環のみちセミナー「肥料用リン資源としての下水道リン循環のみち」
(12/13)ご案内【日本下水道施設業協会】
- GKPが「第15回エコプロダクツ2013」に出展【GKP】

○第2回下水道政策研究委員会資料をHPに掲載しました。【下水道企画課】

22日に開催されました、標記委員会の資料をホームページに掲載しましたのでお知らせします。議事概要については今後掲載しますが、本委員会の議論を踏まえ、次回からは長期的な目標の3つの柱「水・資源・エネルギー循環のみち」「持続可能性の追求」「新たな価値共創」の主要な施策テーマごとにご議論いただく予定です。

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000307.html

○下水道工事における安全対策の徹底について【下水道事業課】

下水道工事事故の多発を受け、11月20日付で「下水道工事における安全対策の徹底について」事務連絡を発するとともに、翌日の全国下水道主管課長会議で注意喚起を行いました。その後も死亡事故を含めて、工事事故が続いています。また、例年、年末にかけて事故報告が多くなる傾向もあります。会議においてもお伝えしているところですが、発注者自身においても、これまで以上に安全管理に対する意識向上を図り、安全パトロールの継続的な実施や、その際の安全対策に関する指導の徹底など具体的な行動により、発注者の安全管理に対する厳しい目を受注者に認識させ、受注者の意識改革を促進いただきますようお願いいたします。

なお、下水道セーフティーネットのホームページでは、事故データベース、安全対策に関する通知等を掲載しておりますので、下水道工事の安全対策にご活用ください。

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/crd_sewerage_tk_000005.html

●「エッピー祭」を開催します（愛知県下水道科学館）【愛知水と緑の公社】

愛知県下水道科学館では、12月14日（土）、15日（日）の2日間「エッピー祭」を開催します。

当公社職員もマンホールや微生物、エッピーの缶バッチ作り体験（2日間）、日光川上流浄化センターの見学ツアー（14日のみ）を行います。この他にも、14日にはビオトープを管理している市民団体ビオピースによる「しめ縄づくり」、ハンドベルの演奏、盲導犬のデモンストレーション、15日にはアクロバットサイエンスショー、カラーガードショーを行います。また、今回が初となる「飲食コーナー（カレー、たこ焼き等）」もあります。

<http://www.eppy.jp/event/2013/12/14-094023.html>

この他にも土日には様々なイベントを開催しています（愛知県下水道科学館のホームページ：下記）。

<http://www.eppy.jp/>

ぜひ、愛知県下水道科学館へお越しください。

公益財団法人愛知水と緑の公社は、アクティオ株式会社と共同体：A & A下水道科学館として、愛知県から指定管理を受け、愛知県下水道科学館を管理・運営しています。

http://business3.plala.or.jp/awg/hp_gesui/index.html

●12月の技術サロンの開催について【下水道機構】

当機構では、地方公共団体、民間等の皆様を対象に下水道に係わる最近の話題や新技術に関する交流の場として、毎月第2木曜日、「技術サロン」を開催しています。

第321回となる今回の技術サロンは、12月12日（木）17：00～18：00、当機構（東京・江戸川橋）会議室にて開催します。ゲストはEICA 東日本大震災調査研究委員会 EICA 米国ハリケーン・サンディ下水処理施設 被害復旧調査団団長 中里卓治氏をお迎えして「米国ハリケーン・サンディ被害処理場の調査報告」をテーマに開催します。申し込みは、当機構ホームページから Web 申し込みをお願いします。

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

●第20回循環のみちセミナー「肥料用リン資源としての下水道リン循環のみち」

(12/13) ご案内【日本下水道施設業協会】

今回セミナーは、日本燐酸(株) 新事業企画マネージャー 用山徳美 様を講師にお招きし、下水道分野で期待の高まるリン資源の回収利用に関するお話を伺います。肥料用リン資源の需給動向から下水道への期待と循環利用の肥料業界の取り組みなどについてお聞きし、下水道循環のみちを推進するための意見交換の場としたいと思えます。

- ・テーマ：「肥料用リン資源としての下水道リン循環のみち」
- ・講師：日本燐酸(株) 新事業企画マネージャー 用山徳美 様
- ・日時：12月13日（金）15：30～18：00
- ・場所：日本下水道施設業協会 大会議室

東京都中央区新川2-6-16 馬事畜産会館2階

お申し込みは、日本下水道施設業協会のHP新着情報をご覧ください。

ご参加お待ち申し上げます。

<http://www.siset.or.jp/>

●GKPが「第15回エコプロダクツ2013」に出展【GKP】

GKP（下水道広報プラットフォーム）では、12月12日（木）～12月14日（土）に東京ビッグサイトで行われる「第15回エコプロダクツ2013」に出展します。

同展示会は環境をテーマに行政・企業からNPO・NGOまで幅広い業界の取り組みなどを紹介するイベントです。GKPのブースでは「こども下水道場」と銘打って小・中学生等をターゲットに下水道を分かりやすく紹介します。パネル展示のほか、顕微鏡を使用して微生物探しや、マンホール展示なども行います。ご来場いただいた皆様にはクイズにお答えいただくと特典として、下水道マスコットキャラクター「スイスイ」のオリジナルトイレトペーパーと、写真入りの免許皆伝の認定証をご用意しています。

下水道の仕組みを楽しく学ぶことができますのでご家族・お友達同士で是非遊びに

いらして下さい。

会期：12月12日（木）～12月14日（土）

10：00～18：00（最終日は17：00まで）

会場：東京ビッグサイト（東5ホール 5-048）

<http://eco-pro.com/eco2013/>

<再掲>

講演会等の開催案内です。既にホットインフォメーションでお知らせしていますが、開催前の講演会等について再掲します。参加申込等については、HP等をご確認ください。

■NPO 21世紀水倶楽部設立10周年記念シンポジウム「地球環境時代の下水道を考える」の開催について【NPO21世紀水倶楽部】

（平成26年1月14日開催）

<http://www.21water.jp/>

→11月22日掲載

■「国土技術政策総合研究所講演会」の開催について【国土技術政策総合研究所】

（12月3日開催）

<http://www.nilim.go.jp/lab/bbg/kouenkai/kouenkai2013/kouenkai2013.htm>

→11月8日掲載

=====

【参考情報】

◆技術者養成：汚水処理、成果を発表 中国からの研修員4人が修了式 / 滋賀<11/22 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/area/shiga/news/20131122ddlk25040522000c.html>

◆東日本大震災：市液状化対策委が地盤強化策まとめ 鹿嶋で第6回会合 / 茨城<11/23 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/area/ibaraki/news/20131123ddlk08040161000c.html>

◆避難者収容能力上回る 南海トラフ県が被害想定<11/26 読売新聞>

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/tokushima/news/20131125-0YT8T01406.htm>

◆国際航業、上下水道サービス強化に向け水道機工と業務提携<11/26 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/select/release/news/20131126p0400e029017000c.html>

発行元： 公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ： <http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニュースレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20130403/>

○ニュースレタークイズの答えはこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20130403/seikai4.pdf>
